

第 11 回 政策科学研究所(IPS)セミナー

人工知能(AI)と コンピューター化社会

報告内容：

今日、人工知能 (AI) 非常に普及しているため、その存在を忘れてしまうほどです。しかし、AI はすべてのテクノロジー同様人々の暮らしを改悪することも改善することもできます。そのため、様々な視点からテクノロジーを考察することが必要です。個人、民間組織、そして公的組織も賢明な決断をし、コンピューター化社会においてその決断がもたらす考うる結果を認識する必要があります。このセミナーでは AI の理論的な概念と、特に労働市場、プライバシーリスク、セキュリティー問題において AI やロボットが与える影響を検討します。

スピーカー経歴：

Pavel Surynek (パヴェル・シュリネック)
准教授・カレル大学；客員研究員・神戸大学

博士号 (人工知能)、修士号 (コンピューター理論)：カレル大学にて取得
主な研究内容：domain-dependent planning, constraint satisfaction, propositional satisfiability
現在、客員研究員 (神戸大学)



日時	2012年5月18日(金) 14:40～16:10	
場所	兵庫県立大学 神戸学園都市キャンパス 研究棟 2(2階) AV 教室	
スピーカー	准教授・カレル大学 客員研究員・神戸大学	Pavel Surynek 氏
備考	発表は英語で行います。学部学生、院生、教員、一般の方どなたでも自由に聴講できます。奮ってご参加ください。	